



安全データシート

Copyright, 2021, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	07-4210-6	版	9.00
発行日	2021/02/26	前発行日	2018/08/12

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

スコッチウェルド ホットメルト接着剤 3776-LM-PG, 3776-LM-Q, 3776-LM-TC, 3776LM-AE

3M スtockナンバ

62-3733-7230-9 62-3733-7233-3 62-3733-9132-5 62-3733-9330-5

会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	テープ・接着剤製品技術部
電話番号	042-779-2188

2. 危険有害性の要約

GHS分類

有害とは分類されない。

GHSラベル要素

注意喚起語

適用しない。

シンボル

適用しない。

ピクトグラム

適用しない。

その他の有害性

熱傷を起こすことがある。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
エチレン-酢酸ビニル共重合体	24937-78-8	30 - 50
石油ナフサを水素化脱硫、スチームクラッキング、重合したもの	68132-00-3	20 - 30
フェノール-a-ピネン樹脂	25359-84-6	10 - 25
アルコール類、C>14	71750-71-5	< 10
水添ロジンのグリセリンエステル	65997-13-9	< 10
エチレンビニルアセテート樹脂	営業秘密	< 10

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の冷水で15分以上皮膚を洗浄する。付着した溶解物を無理に剥がそうとしてはいけない。患部を清潔な布で覆い、直ちに医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに大量の水で、少なくとも15分間眼を洗う。溶解した物質を除去してはいけない。すぐに医学的注意を手に入れる。

飲み込んだ場合

応急処置は不要。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重大な症状や影響はない。毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合：通常の燃焼性物質の消火に適した水あるいは泡消火剤などを使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

本製品では予想されない。

有害な分解物または副生成物

物質

一酸化炭素

条件

燃焼中

二酸化炭素

燃焼中

消火作業者の保護

消火作業者への特別な防御措置は予想されない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

新鮮な空気での場所を換気する。 他のセクションの使用上の注意を見る。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩した物質を出来る限り多く回収する。 密閉容器に収納する。 残さを清掃する。 容器を密封する。 回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

熱した材料に触れないこと。 子供の手の届かないところに置くこと。

保管

特別な保管条件はない。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション 3 に記載されたいずれの成分についても、許容濃度は無い。

ばく露防止策

設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フェーム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨します。

全面マスク

間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具

化学防護手袋は不要。

呼吸用保護具

特に必要としない。

熱危険性

やけどを防ぐため、この製品を取り扱う際は、耐熱手袋を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	固体
物理的状态:	ワックス状固体。
色	暗褐色。
臭い	無臭
臭いの閾値	データはない。
pH	適用しない。
融点・凝固点	約 86.1 °C
沸点, 初留点及び沸騰範囲	適用しない。
引火点	約 237.8 °C
蒸発速度	適用しない。
引火性 (固体、ガス)	区分されない。
燃焼点 (下限)	適用しない。
燃焼点 (上限)	適用しない。
蒸気密度/相対蒸気密度	なし。
密度	0.95 g/cm3
比重	0.95 [参照基準: 水=1]
溶解度	なし。
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	適用しない。
揮発性有機化合物	0 g/l [試験方法: SCAQMD rule 443.1 での計算値]
揮発分	0 重量% [詳細: 測定条件: 21°C]
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	0 g/l [試験方法: SCAQMD rule 443.1 での計算値]
モル重量	データはない。
固形分	100 %

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、通常の使用条件下では、非反応性であると考えられる。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

知見はない。

混触危険物質

知見はない。

危険有害な分解物

物質

条件

知見はない。

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

眼に入った場合

加熱中：

熱傷： 激しい痛み、発赤、腫脹、組織の破壊などの症状。

皮膚に付着した場合

加熱中：

熱傷： 激しい痛み、発赤、腫脹、組織の破壊などの症状。

吸入した場合

人体への健康影響は考えられない。

飲み込んだ場合

人体への健康影響に関する情報は無い。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
エチレン酢酸ビニル共重合体	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
エチレン酢酸ビニル共重合体	経口摂取	ラット	LD50 > 1,000 mg/kg
石油ナフサを水素化脱硫、スチームクラッキング、重合したもの	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
石油ナフサを水素化脱硫、スチームクラッキング、重合したもの	経口摂取		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
フェノール-a-ピネン樹脂	経口摂取	マウス	LD50 > 2,000 mg/kg
水添ロジンのグリセリンエステル	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
水添ロジンのグリセリンエステル	経口摂取	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
エチレン酢酸ビニル共重合体	専門家による判断	刺激性なし
石油ナフサを水素化脱硫、スチームクラッキング、重合したもの	専門家による判断	刺激性なし
水添ロジンのグリセリンエステル	ウサギ	刺激性なし

眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
エチレン酢酸ビニル共重合体	専門家による判断	刺激性なし
石油ナフサを水素化脱硫、スチームクラッキング、重合したもの	専門家による判断	刺激性なし
水添ロジンのグリセリンエステル	ウサギ	軽度の刺激

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
水添ロジンのグリセリンエステル	ヒト及び動物	区分されない。

呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い。

発がん性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い。

生殖毒性

生殖発生影響

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
エチレン-酢酸ビニル共重合体	経口摂取	肝臓	区分されない。	ラット	NOAEL 4,000 mg/kg/day	90 日

吸引力呼吸器有害性

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの 1 ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション 2 で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション 2 の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生毒性（急性）

GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

水生毒性（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
エチレン-酢酸ビニル共重合体	24937-78-8		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			N/A
石油ナフサを水素化脱硫、スチームクラッキング、重合したもの	68132-00-3		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			N/A

スコッチウェルド ホットメルト接着剤 3776-LM-PG, 3776-LM-Q, 3776-LM-TC, 3776LM-AE

フェノール-a-ビネン樹脂	25359-84-6		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			N/A
アルコール類、C>14	71750-71-5		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			N/A
水添ロジンのグリセリンエステル	65997-13-9	緑藻類	推定値	72 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
水添ロジンのグリセリンエステル	65997-13-9	ニジマス	推定値	96 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
水添ロジンのグリセリンエステル	65997-13-9	ミジンコ	推定値	48 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
水添ロジンのグリセリンエステル	65997-13-9	緑藻類	推定値	72 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
エチレン-酢酸ビニル共重合体	24937-78-8	データ不足			N/A	
石油ナフサを水素化脱硫、スチームクラッキング、重合したもの	68132-00-3	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	0 % BOD/ThBOD	非標準的な手法
フェノール-a-ビネン樹脂	25359-84-6	推定値 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	24 CO2発生量/理論CO2発生量%	Catalogic™
アルコール類、C>14	71750-71-5	データ不足			N/A	
水添ロジンのグリセリンエステル	65997-13-9	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	47.3 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
エチレン-酢酸ビニル共重合体	24937-78-8	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
石油ナフサを水素化脱硫、スチームクラッキング、重合したもの	68132-00-3	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
フェノール-a-ビネン樹脂	25359-84-6	推定値 BCF-その他		生物濃縮係数	7.9	Catalogic™
アルコール類、C>14	71750-71-5	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
水添ロジンのグリセリンエステル	65997-13-9	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	7.4	推定値：生態濃縮係数

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意**廃棄方法**

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意**国内規制がある場合の規制情報**

取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。 船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない）

15. 適用法令**国内法規制及び関連情報****日本国内法規制（主な適用法令）**

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質（表示物質）

消防法：指定可燃物（合成樹脂類、その他のもの）

主な法規制物質

法規名			
成分	安衛法（表示・通知）	化管法	毒劇法
石油ナフサを水素化脱硫、スチムクラッキング、重合したもの	330（石油ナフサ）	該当なし。	該当なし。
水添ロジンのグリセリンエステル	632（ロジン）	該当なし。	該当なし。

16. その他の情報

ホルムアルデヒド基準：（日本接着剤工業会）室内空気汚染対策のための自主管理規定。J A I A-0 0 6 3 3 5 F☆☆☆☆。

改訂情報

セクション 1：ストック番号情報 情報修正。

セクション 2：注意喚起語 情報の削除。

セクション 2：シンボル 情報の削除。

セクション 3：成分表 情報修正。

セクション 3：「この製品は混合物です。」の標準フレーズ 情報の追加。

セクション 4：毒性学的影響情報 情報の削除。

セクション 5 : 火災時情報 (消火剤) 情報修正.
セクション 9 : 特性 情報の追加.
セクション 9 : 特性 情報の削除.
セクション 9 : 色 情報の追加.
セクション 9 : ナノパーティクル 情報の追加.
セクション 9 : 臭い、色、グレード情報 情報の削除.
セクション 9 : 揮発分 情報の追加.
セクション 9 : 追加性状に関する記載 情報の追加.
セクション 9 : 追加性状に関する記載 情報の削除.
セクション 9 : 蒸発密度 情報の追加.
セクション 9 : 蒸発密度 情報の削除.
セクション 9 : 粘度 情報の削除.
セクション 9 : 粘度 情報の追加.
セクション 9 : 水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 情報の追加.
セクション 9 : 揮発性有機化合物 情報の追加.
セクション 11 : 急性毒性の表 情報修正.
セクション 11 : 重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正.
セクション 11 : 皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.
セクション 11 : 皮膚感作性の表 情報修正.
セクション 12 : 成分生態毒性情報 情報修正.
セクション 12 : 残留性および分解性の情報 情報修正.
セクション 12 : 生態濃縮性情報 情報修正.
セクション 14 : 輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正.
セクション 15 : 法規名 - 表 情報修正.
セクション 15 : 適用法規のステートメント 情報修正.
セクション 16 : UK放棄声明 情報の削除.

免責事項 : この安全データシートの情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、法的な要求事項を除き、安全データシートの記載事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません、本安全データシートの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確認ください。

3M ジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。